

認知症作業療法 活動報告（概要）

三重県作業療法士会（以下、県士会）では、**H29**年度より「認知症作業療法推進委員会」を設置。**H30**年度の活動目標を「**認知症OTの地域進出推進**」と掲げ、以下の**2**つの柱をもとに活動を行った。

1. 会員への知識と技術の研鑽の場の提供

①アップデート研修の開催（別紙1）

支援の視点を広げることを目的に、認知症の人と家族の会（以下、家族の会）との連携のもと、「認知症と共に生きるということ」をテーマに認知症と共に歩んでいる本人と家族に講演いただいた。42名の参加があり、「本人さんや家族さんのために、関わり方を改めて考え直していきたい」といった反応が得られた。

☆家族の会におけるOTの活動

数年前より**OT2**名が世話人、数名の**OT**が会員となり、本人・家族とともに活動している。家族の会への**OT**派遣では、若年性のつどい本人交流会にて、共に話し合ったり、御在所ロープウェイへのお出掛け、バーベキューなどをして楽しみながら「認知症と共に歩むこと」について学んでいる。

②スキルアップ研修の開催（別紙2）※2-②への効果を狙い、他職種・一般市民も対象としている。

地域支援のイメージやグッドプラクティスを習得し、意識を高めることを目的に、群馬医療福祉大学の山口智晴先生を講師に招き、初期集中支援をテーマとした研修会を11/4に開催する。

③次世代の育成、協働仲間づくり

推進委員と、県下の認知症に携わるOTとのネットワーク作りを進めるため、SNS情報共有・相談ツール「みえーる認知症OT!」と連携し、ニーズのあるテーマについての研修会を各地で実施した。その中でメンバーを募り、運営委員として推進委員の取り組みに参画いただいた。

☆みえーる認知症OT!

フェイスブック、**LINE**グループを利用し、臨床での困りごとの相談、使えるツールや好事例の共有、施策や協会の動きなどの情報拡散・収集を行い、県士会員間の連携ネットワークの構築を図っている。その中でニーズのあるテーマをもとに勉強会・交流会を企画・開催し、県士会員の人材育成を行っている。現在参加者**79**名。

2. OTが地域に出ていくための仕組みづくりの推進

①市町とOTをつなぐ窓口と人材バンクの仕組みづくり

<地域リハビリテーション部やPT/OT/ST三士会との連携>

各地区担当者・リハビリテーション情報センターと情報交換や講師派遣システムの構築を進めている。今年度は社会福祉協議会からの委託予防事業「いきいきチャレンジ」の実施を連携して行った。市町との広報協力体制や地域ケア会議への参加など、体制が構築されつつある。

②関係職種・地域住民への啓発、アプローチ

県内のいくつかの認知症カフェに**OT**が参加し、①家族の相談会での発言、②ピアサポートのつなぎ役、③認知症と共に歩む方への回想法、④自宅での作業の提案などを行っている。また、**RUN**伴、キャラバンメイト、回想法実践者研修といった活動にも参加している。

<課題と今後の展開>

OTが地域に出ていくための仕組みを**具体化**

- ・みえーる認知症OT!と連携し、「地域活動チャレンジ企画研修」を実施する
- ・「認知症OTができること」を啓発するツールを作成し、市町や行政、OTなどの環境に設置する
- ・地域リハ部と連携し、認知症OTの地域ケア会議や総合事業への参加機会を創出する